

YELL

エール
第25号

那須教育事務所ふれあい学習課
〒324-0056 栃木県大田原市中央 1-9-9
Tel:0287(23)2177 FAX:0287(23)2193
Mail:nasu-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

Vol. 25 平成25年 8月

地域資源の活用について

夏休みに入ったと思ったら、あっという間に8月を迎えてしまいました。部活動の大会や研修会、個人懇談等で、忙しい毎日をお送りのことと思います。毎日、暑い日が続いていますが、どうぞお体を御自愛ください。

さて、今回は地域資源について取り上げていきたいと思います。

「地域資源」と聞いて、みなさんは、何を思い浮かべますか。前号で取り上げた地域人材は人的資源として、すぐに思い浮かぶかもしれません。しかし、地域には、まだまだ沢山の資源が眠っています。次に挙げるような視点で、地域を見直してみると、新たな発見があるかもしれません。

1 歴史・文化

史跡や伝統芸能などが学区内にはありませんか。国指定の文化財など有名なものは、知られているかもしれませんが、各市町教育委員会で編集した文化財に関する冊子や本、DVD等をもとに学区内を見直してみると、県や市町指定の文化財、天然記念物、遺跡など新たな発見があるかもしれません。

また、地域住民の協力を得て、学区の古い写真を集めてみるのもおもしろいでしょう。現在と比べるだけで、子どもたちは大きな気

付きがあるかもしれません。貴重な資料となります。

2 自然

学校の近くには、川や湖、林などはありませんか。そこをフィールドにし、子どもたちが興味関心をもったこと（例えば動植物について、水質についてなど）を調べれば、その自然環境が地域資源となり得るわけです。

3 産業

学区内の産業に目を向けてみましょう。農業（酪農家やイチゴ農家、養鶏農家など）、工業（工場など）、林業、水産業、生産の仕組みを知るということは社会科などで生かすことができるでしょうし、その人の生き方についてふればキャリア教育にもつながります。また、小売、飲食、宿泊などの産業も、地域資源として活用することができます。

4 施設

地域にある様々な施設（例えば、図書館、公民館、青少年教育施設、博物館、公園、駅など）を利用することは、見学したり実体験したりすることを通して、学習したことを深め、知識を確かなものとするに役立ちます。どんな施設があるかを把握し、どんな学習につながるのかを整理しておくとういでしょう。

夏季休業を利用して、生涯学習係が中心となり、全職員で学区内をゆっくり見直してみると、より地域を理解し、地域資源が沢山あることに気付くことができるかもしれません。そして、その地域資源を利用した授業を展開することにより、子どもたちの郷土愛を育むことができるとともに、学校と地域が連携することにより、学校に対する地域の信頼を高めることもできます。また、地域の教育力を高めることができます。つまり、学校教育だけでなく社会教育の充実も図ることができるのです。

社会教育主事の紹介

氏名：大輪 克哉 先生
勤務先：なす高原自然の家
職名：社会教育主事
メッセージ：4月から、なす高原自然の家に勤務しております。



つつじ、新緑、鳥のさえずりなど、これまで平地では気付かなかったすばらしい自然に触れ、充実した毎日です。力不足ですが、利用者の皆さんの活動が有意義なものになるよう、全力でサポートしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。